

議会だより おかがき

No.89 6月定例会 平成24年8月10日発行

議会住民懇談会 ● 2・9～11

町民に信頼される議会を目指して

町政を問う ● 5～8

一般質問



五十年! 輝く岡垣 ひろがる未来
Anniversary
50th
since 1962

岡垣

第5回 議会住民懇談会を開催!!

町民に信頼される議会を目指して

平成24年度の議会住民懇談会は5月9日から11日までの3日間、東部・中央・西部公民館で開催いたしました。今年度の議会住民懇談会は、第1部では平成24年3月議会で上程された条例をはじめ、平成24年度一般会計当初予算や特別会計・公営企業会計などの審議状況の報告、第2部では町政全般にわたる意見交換会を実施いたしました。



◇5月9日 東部公民館

東部公民館では総務産業常任委員会が運営を担当いたしました。

82名のご参加をいただきました。



◇5月10日 中央公民館

中央公民館では議会運営委員会が運営を担当いたしました。

46名のご参加をいただきました。



◇5月11日 西部公民館

西部公民館では文教厚生常任委員会が運営を担当いたしました。

38名のご参加をいただきました。

詳細は特集ページ(9～11ページ)へ



子どももしっかり消火訓練（旭南区）

定例会

6月

概要版

6月定例会は6月6日から15日までの 会期で開かれ、4議案、陳情1件、請願1件、 発議2件について審議しました

●本会議に提出された主な議案は、

①住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

②福岡県介護保険広域連合規約の変更について

③福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

④大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書について

●全員協議会は

①町制施行50周年記念事業について

②空き家実態調査の報告について

③最終処分場環境保全協定について

④平成23年度岡垣町発注工事について

- 岡垣町教育委員に 佐々木 敏幸さん（新任・吉木）
- 平成23年度岡垣町一般会計繰越明許費繰越計算書報告について
- 平成23年度岡垣町土地開発公社決算報告について
- 総務産業常任委員会の継続審査について
 1. 陳情書 株式会社ナフコ出店計画について
 2. 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める請願書

議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥除・退席退・欠席欠

内 容	採決日	議席番号 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			横山 貴子	西 美千代	小 野元次	太 田強	西 田陽子	安 部弘彦	下 川路勲	平 山弘	中 村好伸	広 渡輝男	神 崎宣昭	市 津広海
岡垣町教育委員会委員の任命について	6/6	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	6/15	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県介護保険広域連合規約の変更について	6/15	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	6/15	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	6/15	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書	6/15	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基地対策予算の増額等を求める意見書	6/15	賛成多数 可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

議会だより「おかがき」を岡垣町公式ホームページに掲載しました!!

創刊号



平成4年11月25日の創刊号から掲載しておりますので、ご利用ください。

議会だより「おかがき」は、町制施行30周年を契機に平成4年発刊されました。町議会の活動状況をより一層広く町民の皆様にご報告し続けて8月10日発行で第89号になります。

本年は、町制施行50周年の大きな節目の年を迎え、さらに議会へのご理解をいただくため、議会だより「おかがき」を岡垣町の公式ホームページに掲載いたしました。



第88号

町政を問う 一般質問

小野

第4次総合計画の総括とさらなる町発展の「第5次総合計画」実現を

町長

自らの手で「第5次総合計画」の実現に全力を傾注する



小野 元次 議員

小野 平成13年、前町政による「第4次総合計画」は、町民の意思を尊重し、議会にて全員挙手で議決がされ、町の重点課題「海老津駅南側開発の促進」をはじめとする施策が進められました。特に平成17年3月「JR海老津駅南側開発基本構想策定業務報告書」、20年3月「JR海老津駅南側開発事業調査報告書」が策定されています。

議会議決権は、議会のもつ権限の中でも最も本質的、最も重要な存在目的から第一に挙げられる権限であり、議会民主主義の多数決の原理に基づいた町民の意思を反映して論議された権限でもあります。



JR海老津駅周辺

将来の町づくり「JR海老津駅南側道路整備事業」を進めていただきたいと思います。

町長 平成20年12月の町長選挙公約に「海老津駅南側開発の促進」を掲げて、町民の負託を受けて町長になり、議会同意を得て、国・県の支援を受けた事業であり、計画に基づき進めます。

小野 「基本構想策定業務報告書」、「事業調査報告書」委託料は。

町長 平成17年「基本構想策定業務」委託費が800万円、20年「事業調査報告書」委託費が1,890万円です。

小野 「第5次総合計画」の実現に向けて、本年12月の本

市津

戸切ボタ山の開発について

町長

調査し、有効活用に向け検討する



市津 広海 議員

○農業補助政策について

市津 日本は農地の4割減反、農地の集積化で中山間地では荒地が増えています。農事者の高齢化、農業人口減少が益々加速すると思われませんがどうですか。

町長 農業政策は国の動向に左右されますが、町は行政として出来ることを実施するという視点で農業行政に取り組んでおり、昨年度から実施し

町の町長選挙への出馬表明をされてはいかがですか。

町長 12月の町長選挙には「第5次総合計画」の実現に向け、全力を傾注して取り組んでいきたい。

ている新規就農者への支援制度など、今後も地域の実情に応じた施策を、実施していきたいと考えています。

市津 日本の農産物は、品質規格、農業等基準が世界一厳しいし、味もいい。そこで例えば中国は富裕層が1億人おり、国策として農産物の輸出を、すべきではないですか。輸出することにより荒地の減少、4割減反が減少します。また水田に水を張ること

で温暖化防止策にもなりますがどうですか。

町長 町の農業・農村環境の向上に必要と判断できれば国に要望していきます。



竹林対策は？

○戸切ボタ山の開発について
市津 ボタ山は経済産業省所管の独立行政法人の所有で、過去に風力発電設置の計画が実施されましたが風量が足りず断念、また企業誘致等検討されましたが、実現には至っていません。福島原発事故により、脱原発の方向であり、環境にやさしいメガソーラーを設置し、町の活性化を図る考えはいかがですか。

町長 再生可能エネルギーの導入可能性調査を行うために県に補助申請を行っており、その調査の検証と併せて、ボタ山の有効活用について検討します。

*他に竹林対策について質問しました。

平山

岡垣町地域防災計画の見直しはどのようになっていくか

町長

風水害、地震対策を見直し、津波対策を盛り込むことについて



平山 弘 議員

平山 岡垣町の地域防災計画の見直しの進捗状況は。

町長 風水害や地震災害対策の見直しを行うほか、津波を想定した対策を新たに計画に盛り込むことになっています。

平山 原発事故の対策も加えていくべきではないですか。

町長 国は、原子力発電所から30km圏内の自治体について防災計画に位置付けることとされていますが、岡垣町は玄海原発から約80kmに位置しており、地域防災計画に盛り込むことにはしていません。

平山 福島原発の放射能被害は100kmから150km圏に及んでいるのは事実。事故が起きてから策定するのですか。



玄海原発30km圏内

平山 避難場所の耐震化はどう考えていますか。

町長 小中学校の耐震化が終り次第、避難施設の耐震化を計画的に進めていきます。

町長 事故が起きてからでは遅いが、原子力対策は専門性が高く、町単独での対応は難しい状況です。県の見直しの

中で、広範囲における原子力災害対策について位置付けるように求めています。

平山 通学路の交通事故対策はどう考えていますか。

町長 町と県と警察との連携により、通学路の緊急点検を実施し、安全対策について検討を行っています。

平山 橋下大阪市長は、市職員の思想調査を実施しました。が労働委員会から批判され、中止しました。

下川路

三里松原の保全について

町長

国との連携を図りながら取り組んでいる



下川路 勲 議員

町長は職員の人権についてどう考えていますか

町長 岡垣町で働く職員も憲法に規定された基本的人権が保障されるのは当然です。

しかし、公務員はその地位の特殊性により政治的中立性と公務の公正な執行のため、政治活動については法令で一定の制限を受けています。

施しているのですか。

町長 マツノマダラカミキリが飛び立つ時期に合わせてヘリコプターによる航空防除を年2回実施しています。

下川路 周辺の方々には、どのような形でお知らせしているのですか。

町長 広報「おかがき」や国道沿線に立て看板で周知しています。それから周辺地域には有線放送でもお知らせしています。

下川路 日時等をもっと詳しく



三里松原 松枯れ11,585本

く丁寧にお知らせすべきです。宗像市の「さつき松原」はレクリエーションの森と位置付けて、22団体の協力の下で整備されています。

町長 当町も松葉かきや灌木除伐等に、多くのボランティアの皆さんが参加し、毎年継続して実施しています。ボランティアの皆さんの活動には本当に感謝しています。

西田

積極的に女性の採用、管理職への登用を

町長

成績主義で公正に行っている



西田 陽子 議員

西田 郡内の女性管理職は芦屋町2人、遠賀町3人、水巻町3人で、岡垣はゼロです。係長の割合も類似団体の志免町他6団体は30%以上ですが岡垣町は25%です。原因は職員男女の比率で、岡垣町は男性113人、女性53人で、差があり女性の採用を増やすべきでは。

町長 私が町長に就任してすぐ女性課長を任命し、男女共同参画推進本部にも女性2人を登用しました。管理監督にあたる職務の女性職員が平成21年4月は10名でしたが、現在13名で、16.9%から18.6%と伸びています。職員の採用は競争試験によ

り行っており、女性枠などは設けていません。

西田 そうであれば、登用の差は縮まりません。採用において成績主義はわかるが、積極的改善措置をすると、町の計画にも示しています。また、新宮町では面接官を、現場の職員から募り、2次面接で9割がた決定し、幹部面接で確認。コネ採用批判に対応しています。

町長 不正があるかのような言い方をされていますが、採用



町の風景 (乳垂川)

は公平公正な手続きで、基準を設けて厳正に行っています。

西田 岡垣町はここ数年若い女性職員が辞めているのがもったいないのでは。

町長 女性職員の退職は本人の配偶者の勤務先の事情や育児の考え方など、本人の人生

設計によるものと受け止めています。

西田 男性が育児休業を取れる環境の整備をすべきでは。

町長 岡垣町特定雇用主行動計画においてワークライフバランスなど、職場環境は十分に整えていきます。

広渡

まちづくり政策の積極的な取り組みを求め

町長

総合的に掲げた政策をバランスよく促進していく



広渡 輝男 議員

町長 JR海老津駅南側道路等整備事業は、白谷踏切通過車両の振り分けによる北側広場の渋滞緩和効果や、「地下自由通路」による高齢者や自転車利用者の安全な行き来が可能となります。

広渡 多額の費用と期間を要する「白谷踏切」の単独立体交差化は歩行者の利便性や広域的な道路網形成、駅南側開発促進にはつながらず、平成17.20年に策定した駅南側開発基本構想等でも何も触れられていません。

広渡 全国的に元気なまちづく

りを目指して定住・交流人口の拡大にむけて積極的に取り組まれています。今こそ「中学生まで医療費の無料化」を打ち出し「子育てに積極的な安心の魅力ある町」を発信することが、政策的な人口誘導策につながるのでは。

町長 子育て支援を重点施策と位置づけ、今年4月から中学3年まで入院費助成を開始したばかりです。事業効果等を十分見極めることもできない状況の中で、更なる拡大について具体的な検討を進める考えはありません。

広渡 土地開発公社は、もう設立目的を終えたのではないですか。財政の健全な運営に取り組むためにも土地開発公社の存廃を視野に入れた抜本改革を求めます。

町長 町の事業を推進する上で、年度間の調整、代替用地の先行取得など必要に応じて土地開発公社の活用を図って行く考えです。



安部

観光資源開発について

町長

拠点となる組織の強化を図る



安部 弘彦 議員

安部 試験的に「やっぱ〜岡垣」が移動販売を行っているんですが、他の区からも要望があがっていると聞いています。

町長 3ヶ月が経過し、その間に延べ1,637人の方が移動販売車を利用しています。また、他の地域からも要望があり、販売実施に向けて関係者との意見交換を行っています。現在試行期間中ですが、引き続き町もこの事業を支援し、課題や効果などを検証しながら、日常生活に困難がある人への対応について、コミュニティバスの利便性向上なども含め様々な視点から、地域や関係者の皆さんと連携

して取り組んで行きます。

安部 定住者人口の増加方法についてお尋ねします。

町長 定住促進対策の基本的な考え方として、子育て世代を対象とした取り組みを進めて行く考えです。また、新たな定住者の受け皿作りとして、JR海老津駅南側開発やサンリーアイ隣接地の開発など、新規住宅団地の開発事業を進めていきます。

安部 岡垣町の自然、そして農林水産業、商工業の生産



波津海水浴場地引き綱

物・加工品、公共サービスを含む、全てが観光資源、ビジネスとなり得る恵みと考えていますがいかがですか。

町長 観光資源の開発や情報発信は、重要な取り組みとして

西

要援護者個別計画の進捗状況は

町長

計画どおり取り組みを進めている



西 美千代 議員

西 近年、私たちが経験したことのない大きな災害が各地で発生しています。このような災害時に備え「要援護者」をどのように支援していくのか、個別計画の進捗状況をお尋ねします。

町長 まずは全体計画を23年3月に策定し、基礎となる情報を管理するためのシステムを作りしました。次に災害時要援護者台帳を作成し、今年度

て、現観光協会の法人化を行い、専任の事務局体制を構築し、積極的に岡垣町の魅力ある資源を対外的に発信するよう拠点となる組織の強化を図ります。

末までに個別計画の作成を行います。

西 要援護者1人に対し、複数の支援者が必要と考えますが、支援者の登録はどのように取り組まれますか。

町長 自治区長や民生委員を中心に平常時から働きかけをしていきます。

西 支援のためには防災士の役割も大きいと思います。今年度の予算に2名計上されています。増やす予定はありますか。

町長 今年度は職員2名で考えています。これをきっかけにして町全体にどう広がっていくかは、今後検討していきます。



防災訓練の様子

西 個別計画に記載する情報には個人情報にあたる部分が含まれます。要援護者登録の際は丁寧な説明をしてください。

町長 要援護者が必要とする情報が示されており、きちんと説明して多くの人に登録してもらえよう努力していきます。

西 日ごろからの地域住民同士のつながりが災害時の支援活動に生かされます。そのためにも町はぜひ力を尽くしてください。

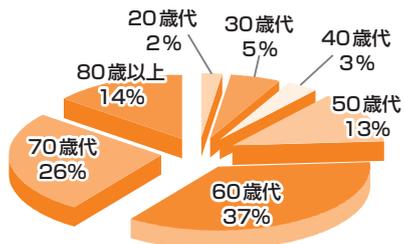
*他に通学路の安全点検や安全教育について質問しました。

議会住民懇談会アンケートの集計結果について

議会住民懇談会参加者166名の内91名の方からアンケートにご協力いただきました。アンケートの内容を要約してご報告いたします。皆様の貴重なご意見を真摯に受止め、今後の議会住民懇談会の運営や議会の活性化に反映させていただきます。ありがとうございました。

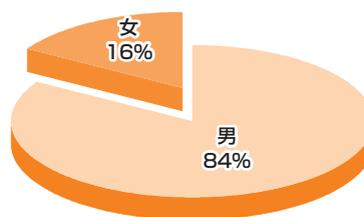
回答者の内訳

年齢別アンケート回答者



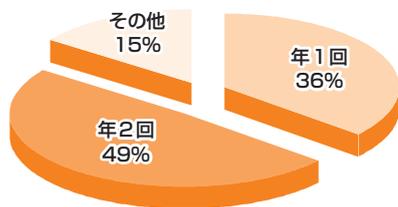
60歳代・70歳代・80歳以上が77%となっている。若い人たちの参加されるような取り組みが課題。

参加者の男女別の状況



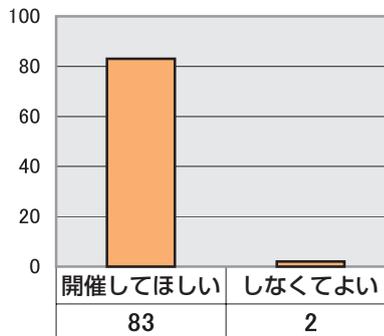
参加者は男性が8割以上を占めており、女性の参加を促すため、開催時間などの工夫が必要。

開催回数

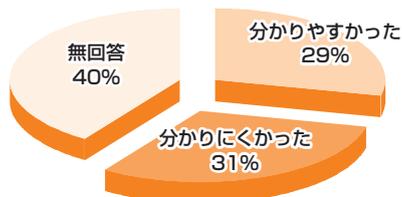


住民懇談会の開催は、年1回実施に対して年2回開催してほしいと回答された方が50%を占めている。

住民懇談会の実施について

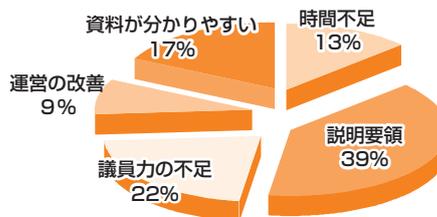


懇談会の内容



懇談会の内容は分かりやすかったが約30%、分かりにくかったが31%とほぼ同率になっている。無回答が40%を占めており、懇談会の内容や説明のあり方が提起されている。またその他の意見では、運営に関し厳しい指摘がされている。

その他の意見



次ページからは、会場でいただいたご意見・ご要望とそれに対する回答の一部を紹介します。

会Q&A

高齢者の買い物問題が深刻化しているが、その解決策は？



A 区長会・民生児童委員会・老人クラブ寿会連合会各会長らの要望を受け、担当各課が昨年7月頃から協議を重ね、本年3月5日から試験的に「やっぱ〜岡垣」が高陽・鍋田区など3箇所で移動販売を開始しています。また、要望があり、旭東・旭中・旭西・高尾区でも実施される予定です。コミュニティバスの増便など、あらゆる場面からこの事業を継続的に支援していきます。

西部地域の活性化を！

国道495号線の真ん中に岡垣町はある。宗像には道の駅、観光地や施設があるが、岡垣町はどうか。西部地区は、湯川山や成田山、波津海水浴場もあるし、魚もうまい！良いところは、いっぱいある。地元の資源を活用して欲しい。地元の人が、西部に出かけてきて心安まる、くつろげる所をつくって欲しいです。



A 町の重要な観光資源としてとらえ、活性化を促進していきます。

岡垣町には、貴重な資料がたくさんあるので、歴史資料館設置や文化財の保存について早急に考えてほしい。



A 町内の文化財をはじめ、他市町の歴史・文化財・民族資料館の視察するなど継続して調査研究を行っています。



JR海老津駅南側道路等整備事業に21億5千万円かけるといいますが、今後の発展性にどのようにつながって行くのか説明してください。

住民懇談

A 平成15年に地元海老津4区からJR海老津駅南側開発促進の陳情があり、議会で採択し、JR海老津駅南側道路等整備事業が促進されているところです。平成17年に策定されたJR海老津駅南側開発基本構想や平成20年のJR海老津駅南側開発事業調査報告書に基づき推進しています。概算事業費の21億5千万円のうち、10億4千万円が国庫支出金、起債7億7千万円、一般財源3億4千万円の財源になっています。起債の元利償還額のうち一定額は交付税額に算入されるようになっています。

A 第5次総合計画の基本構想では、発展する町を目指した海老津駅周辺環境整備プロジェクトを重点プロジェクトのひとつと位置づけており、平成27年度までの前期基本計画中の行動目標として中心市街地活性化に向けた取り組みを掲げているが、地権者との合意形成や具体的な事業計画の策定が大きな課題です。実現化へむけて議会の役割をしっかりと果してまいります。

中心市街地の活性化事業の見通しは？



荒廃森林について、間伐が進んでいるが、放置されている切った木を再利用できないか。また、竹林の放置で杉・檜が枯れている。根本的な解決策へ向けて取り組んでほしい。

A 県の森林環境税を使っている事業ですが、使い道が決められているので、地元の声を県に届けていきます。竹林の件は、吉木地区の活動をモデルにした広がり期待しています。また議会では、塩害や暴風から私たちの生活を守る三里松原の保全と松くい虫などの被害を防ぐため、近隣の市町と連携を取りながら国や県に対して積極的な陳情活動を行っています。今後も継続した取り組みを行っていきます。

町議会50年

③ 総合計画について

昨年3月定例会で平成23年度から平成32年度までの10年の町づくりの指針ともいえるべき第5次総合計画が議案2号として提案され、賛成多数で可決されました。議会改選前の議決でしたが、執行部・議会・町民は総合計画に沿って様々な施策を進めてゆくこと

代化・合理化・広域化に対処する必要性が生じ、首長・議会の改選等にかかわらず、計画性・継続性をもって着実に町づくりに取り組むことで「均衡ある国土の発展」が図られるよう、国レベルで意図したところから考えられる。

経過

になり。10年後にはまた違った形で計画が策定されるでしょうが、これまでの岡垣町総合計画を振り返ってみました。

その背景

昭和44年4月19日地方自治法の一部改正がなされ「市町村は、その事務を処理するに当たっては、議会の議決を経てその地域における総合かつ計画的な行政の運営を図るため基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならぬ」と規定された。高度経済成長最中のことで、各自治体の行政需要が膨らみ続けるなか、行政の高度化・近

現代化の設立等の議案がその後年可決されている。

昭和57年3月（辻町政）に可決された第2次総合計画では、公共下水道事業の第1期整備計画が提示され、計画・予算・規模・日程を含め、かなり具体化したものであった。

海老津駅前広場の早期完成も謳われ、ほぼ現状の姿の計画図が示されていた。

平成3年3月（刀根町政）に可決された第3次総合計画では総合ふれあい公園（サン

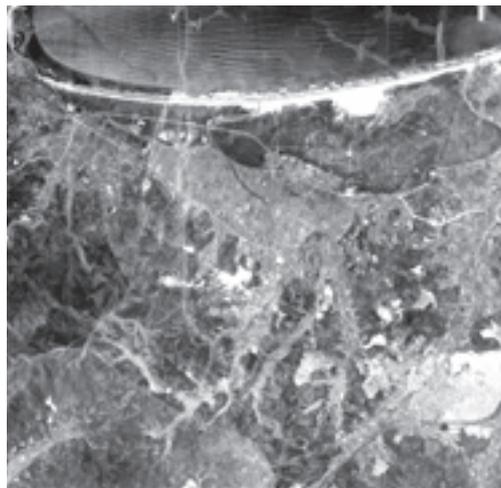
リーアイ）の整備計画が示され、文化・スポーツを通じて「心の豊かさ」が求められる時代の「ひとづくり」の考え方が示された。

公共下水道第2期整備計画の事業実施、農・漁業集落排水事業の検討に入ることも示された。情報化の推進、住居表示事業、また自然環境への配慮、高齢者福祉等ソフト面での行政課題対応も色濃く示された。

この第3次の計画で示されたものである。平成13年3月（樋高町政）に可決された第4次総合計画では「暮らしに安心を」とソフト面の施策が掲げられ、少子・高齢化、環境、防災



平成3年に策定された町道路網図



昭和46年 空から見た岡垣

等の諸課題を「協働」「コミュニティ」「循環型社会」をキーワードに取り組みを進めるとしたところが特徴である。

もとより昭和61年5月から取り組んだ第1次行政改革、平成18年4月からの行政構造改革（第4次）に至る数次の行革は、改革を進めながら、同時に総合計画の諸施策を押し進める上での財政の裏付けを求めて努力し続けた先人の足跡で、昭和46年に「計画と財政の一致」と明示され、継承されてきたもので、忘れてはならない基本だと思う。

議会の動き

3月定例議会終了後の本会議・委員会協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
4月 9日	議会広報特別委員会(閉)	議会だよりおかがきの編集
4月10日	議会運営委員会(閉)	第1回臨時会・議長からの諮問について
4月11日	文教厚生常任委員会(閉)	町内文化財視察
4月13日	本 会 議	上程・採決
4月13日	総務産業常任委員会(開)	付託議案
4月13日	議会運営委員会(閉)	議長からの諮問について
4月17日	議会広報特別委員会(閉)	議会だよりおかがきの編集
4月20日	総務産業常任委員会(協)	議長からの諮問・住民懇談会について
4月20日	議会運営委員会(閉)	議長からの諮問について
4月24日	議会広報特別委員会(閉)	議会だよりおかがきの編集
4月25日	文教厚生常任委員会(閉)	閉会中の継続審査(陳情)
4月26日	総務産業常任委員会(協)	住民懇談会・議長からの諮問・行政視察研修
5月 2日	全 員 協 議 会(閉)	住民懇談会について
5月 9日	岡垣町議会住民懇談会	会場：東部公民館
5月10日	岡垣町議会住民懇談会	会場：中央公民館
5月11日	岡垣町議会住民懇談会	会場：西部公民館
5月15日	文教厚生常任委員会(閉)	閉会中の継続審査(陳情)
5月25日	議会運営委員会(閉)	第2回定例会
6月 6日	本 会 議	上程
6月 6日	議会広報特別委員会(開)	議会だよりおかがきの編集
6月 7日	本 会 議	一般質問4人
6月 8日	本 会 議	一般質問4人
6月11日	総務産業常任委員会(開)	付託議案
6月11日	議会運営委員会(協)	議会住民懇談会について
6月12日	文教厚生常任委員会(開)	付託議案
6月13日	全 員 協 議 会(開)	町制50周年記念事業について他
6月13日	議会運営委員会(開)	議長からの諮問について・発議について他
6月15日	本 会 議	議決・発議
6月15日	議会広報特別委員会(閉)	議会だよりおかがきの編集
6月22日	議会広報特別委員会(閉)	議会だよりおかがきの編集
6月29日	総務産業常任委員会(閉)	閉会中の継続審査(陳情)
7月 4日	文教厚生常任委員会(協)	歴史文化研究会との懇談会
7月 4日	議会運営委員会(閉)	議長からの諮問について
7月 6日	議会広報特別委員会(閉)	議会だよりおかがきの編集
7月17日	議会広報特別委員会(閉)	議会だよりおかがきの編集

文教厚生常任委員会



閉会中の継続調査による町内文化財の視察
(文化財保管庫)

総務産業常任委員会



閉会中の継続審査のための現地視察(高倉)

おんがレガッタ

5月26日(土) 遠賀川において開催されたおんがレガッタ(遠賀町主催)に一昨年・昨年に続き参加しました。町長会や各町議会、諸団体と有意義な交流ができました。



岡垣町議会 チーム
右から
市津広海
中村好伸
神崎宣昭
下川路勲
安部弘彦
ちなみに5位
ではありません

夏本番

天気が続いて
猛暑にな～あれ
7月1日
波津海水浴場海開き



会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議事本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

田植え風景

どうか天候に恵まれて美味しく育ちますように。



どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は
9月7日(金)
開会の予定

編集後記

中村 好伸

本年10月1日をもって、岡垣町は町制50周年を迎えます。今日に至るまで、岡垣町は、多くの先人の方達の血と汗と涙によって築かれてきたことは言うまでもありません。

しかし我々の世代は、岡垣町が産声をあげた頃を知りません。本年度、様々な機会でも町制50周年が祝われ、記念式典では功労者をたたえ表彰が行われます。

偉大な先輩方の大きな功績に感謝し恩返しするためにも、50周年記念事業をとおして、これからの岡垣町を支えつづけていく「岡垣村を知らない世代」が、もつと岡垣を知り、もつと岡垣を愛するようになることを願ってやみません。

「住みたい・住み続けたい・みんなが輝く元気なまち岡垣」へ

発行責任者

議長 長 曾 宮 良 壽

議会広報特別委員会

- | | |
|------|---------|
| 委員 長 | 廣 渡 輝 男 |
| 副委員長 | 西 美 千代 |
| 委員 | 横 山 貴 子 |
| 委員 | 西 田 陽 子 |
| 委員 | 中 村 好 伸 |
| 委員 | 神 崎 宣 昭 |